

第25回 国立市健康危機管理対策本部会議記録	
日時	令和4年1月14日（金）14時00分から14時45分
場所	市長公室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長（健康福祉部ワクチン接種対策室長）、門倉都市整備部長、江村都市整備部参事、橋本教育次長、矢吹会計管理者、内藤議会事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、田代監査委員事務局長、
付議事項	<p>（1）直近の感染状況と対策について</p> <p>①東京都・国立市の感染状況について（資料No.1）</p> <p>②職員の勤務体制について</p> <p>③市内の公共施設の取り扱いについて</p> <p>④感染にかかるの待機日数について</p> <p>（2）自宅療養支援の医療支援について</p> <p>（3）ワクチン接種について</p> <p>（4）その他</p>
主な内容	<p>（進行：大川健康福祉部長）</p> <p>1 本部長あいさつ</p> <p>報道でもあるように、感染者が急増している。業務への影響も最小限にしながら、市民生活を支え、真摯に対応しなければならない。</p> <p>2 議題</p> <p>（1）直近の感染状況と対策について（大川健康福祉部長）</p> <p>①東京都・国立市の感染状況について</p> <p>・東京都モニタリング会議資料（資料No.1）</p> <p>②職員の勤務体制等について（藤崎行政管理部長）</p> <p>・会計年度職員についても、土日の勤務で分散出勤ができるとよとの意見があり、本人の同意のもと対応できるようにしていく。</p> <p>・職場内で感染者、濃厚接触者が発生し、出勤できず、業務の応援必要な場合、直近の異動前に経験がある方を優先に緊急的に兼務の措置をとることを考える。</p> <p>一健康福祉部において、時差出勤や土日勤務による分散出勤、テレワークなどの場合分けをして職員からの聞き取りをし、それぞれのメリットデメリットを挙げた。これをもとに、さらなる職場内での感染症対策を進めていく。（大川健康福祉部長）</p> <p>③市内の公共施設の取り扱いについて</p> <p>・これまでの対応と同じく、感染防止を徹底して開館するが、感染の状況を見ながら、適時対応していく。（大川健康福祉部長）</p> <p>④感染にかかる待機日数について（大川健康福祉部長）</p> <p>発症日（発熱日）、最終接触日を0日とカウントする。14日になるか、10日になるかは今後示され次第の対応となる。</p> <p>（2）自宅療養者への医療支援（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <p>保健所と連携をしながら、電話相談のほか、物資の配達等を実施する。</p> <p>一物資の配達等は引き続き都市整備部の協力を得ながら実施するが、健康福祉部内においても生活物資の給付にあたる職員を増やしていく方向性で対応していく。（大川健康福祉部長）</p> <p>・今回の感染者については、ほぼワクチン接種をしていると聞き取りをしており、暴露から症状がでる期間が短くなっている。さらに、発熱の翌日には解熱している状況の人が多い。（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <p>（3）ワクチン接種について（黒澤生活環境部長（健康福祉部ワクチン接種対策室長））</p> <p>医療関係者のワクチン接種は始まっていて、各病院で接種している。</p> <p>本日（1/14）に一般高齢者のプースター接種の券を発送しており、ネットでは、本日から予約ができ、1/17から窓口（中央ロビー）にて予約のサポートを行う。</p> <p>社会福祉協議会も協力をいただき、1月24日の週を中心に市内各所で予約のサポートをしていただく。各市の状況を聞くと、慣れてきたので、混乱もなくできているとのこと。</p> <p>（4）その他</p> <p>①国立市医師会春日井会長より情報</p> <p>ワクチン接種受けていても発症するというのがオミクロン株の特徴であるため、ワクチン接種をしたからといって、飲食時のマスクをはずすような行動は控える必要がある。</p> <p>3 本部長指示及び対応方針について（永見市長）</p> <p>病床利用率20%を超えたら都の蔓延防止重点措置が発令されることになる。現在は10数%であるが、この感染者の増加率をみると、早い段階で発令されることになると思込まれる。臨機応変に対応していただきたい。</p>